

「憲法を学びあい、守ろう」の 世論をひろげていきましょう

松江市教育委員会による『はだしのゲン』の閲覧制限要請は世論の非難を浴びて撤回されましたが、地方議会で一部議員が同様の制限を検討せよと要求するなど、新たな動きが他県にもひろがっています。

東京に始まった、高校の歴史教科書の採択に対する妨害行為も神奈川、大阪、埼玉などにひろがっており、憲法が保障する思想・表現の自由や、学ぶ権利への抑圧が強まっています。

これらは、「集団的自衛権の行使」に向けた「憲法 9 条の解釈変更」など、安倍政権の改憲への動きと軌を一にしており、日本の民主主義と憲法を守る大きな世論をつくるのがいよいよ大切になっています。

アピール 「今、子ども・若者とともに、憲法を読み深めよう」

教育子育て九条の会は9月22日、シンポジウム「子育て・学校の現場から あらためて教育と憲法を考える」を開き、このシンポジウムやこれまでの活動をふまえて、アピールを出しました。

みなさんの職場や地域で、学習会などの際に資料としてご活用いただければと思います。憲法の改悪をなんとしてもくい止め、子育てと教育に憲法をいかすことへの合意をひろげていきましょう。

アピールについてのご意見や、地域のとりくみなどをお寄せください。(上記の「会」事務所あて)

許すな！戦争のできる国づくり
守ろう！子どものいのちと人権

今こそ生かそう 憲法を！

教育子育て九条の会 第6回全国交流集会

2013年12月1日(日) 10:30~16:30、長野市生涯学習センター(長野市大字鶴賀間御所町1271-3)

みんなで学び語りあう分科会(10:30~12:00)

- ①教科書が危ない(俵義文さん) ②一人残らず子どもの学ぶ権利を実現する学校づくり(佐藤学さん)
- ③子育ての仲間づくり交流サロン(三上満さん)

全国交流集会全体会(13:00~16:30)

- ・開会あいさつ 松本猛さん(「ちひろ美術館」常任顧問)
- ・特別報告 ①長野県の教育をめぐる ②「長野の子ども白書」から見える子どもの現状
- ・リレートーク 高校生や母親の発言、長野、大阪、福島から、沖縄のビデオメッセージなど
- ・シンポジウム「憲法が生きる学校づくり、地域づくり」

コーディネーター 小森陽一さん(九条の会事務局長)

シンポジスト 藤田英典さん(日本教育学会会長)

上原公子さん(元国立市長、脱原発をめざす首長会議事務局長)

岡庭一雄さん(阿智村村長)